

第3回ワークショップの結果概要

- 開催日時 令和4年5月29日（日）午後2時00分～午後4時30分
- 場所 みんなでつくろうまちのヒミツ基地（みんキチ）
- 参加人数 23名
- 主な内容 <<グループワーク>>「まちのコンセプトを具体化しよう①」
- 結果概要

5つのグループごとに、テーマに沿った「企画のタネ」を設定した後、フィールドワークを実施した。

フィールドワークを踏まえ、「いつ」「どこで」「だれに」「どんなことをするのか」「企画でのゴール」についてとりまとめた。

【Aグループ】

① テーマ
カルチャー

③ いつ（開催時期）
定期的に実施したい。

④ どこで（会場）

中央公園や相模女子大学等、地域の活動の核となる場所
（どこに行けば何があるか、何が出来るのかが分かるような場所があると良い）

⑧ この企画でのゴール（達成したいこと）

学生が活躍できるまち

② 企画のタネ（一番大切に考えたいこと）
学生など若い世代を中心に活動を発信できる場を作りたい

⑤ 空間の写真



中央公園の壁を使って映画祭等を行う



相模女子大学から学生中心の活動を展開

⑥ だれに（ターゲット）

仕掛ける側：地域×学生

ターゲット：地域住民

⑦ どんなことをするのか（コンテンツ）

学生と地域をつなぐ、全国のモデルケースとなるような取組
例）

- ・ ショートフィルムコンテストの開催（街の小さなドラマをショートフィルムにしてコンテストを行う）
- ・ まち全体を使った文化祭
- ・ 映画祭
- ・ 情報発信基地としてFM オーノのようなサテライト局をつくる
- ・ 相模女子大学の学生さんとコラボした地域貢献プロジェクト
- ・ 学生が起業できるシステムづくり 等

【Bグループ】

①テーマ
ワーク

②企画のタネ（一番大切に考えたいこと）
ビジネスを通じてまちに活気を取り戻す。

③いつ（開催時期）

いますぐできることから実施する。

⑤空間の写真



にぎわう商業店舗（銀座商店街）

⑥だれに（ターゲット）

アンダー35歳を対象にする。

- ・ビルオーナー
- ・相模女子大学のOG
- ・大学生
- ・若い新規起業家 など

④どこで（会場）

空きテナントが目立つコリドー街など。



コリドー街で目立つ空きテナント

⑦どんなことをするのか（コンテンツ）

ビジネスプランコンテストを実施する。
⇒コリドー街の空きテナントを対象に、
日常利用やタイムシェアの利用方法を募る。

⑧この企画でのゴール（達成したいこと）

空き店舗がうまり、にぎわう街になる。

【Cグループ】

①テーマ
アウトドア・スポーツ

③いつ（開催時期）

アウトドアで活動しやすい季節が良い（春、秋が中心）

④どこで（会場）

相模大野中央公園

公園を起点として周辺の道路、商店街などでも展開

⑧この企画でのゴール（達成したいこと）

身体も心もまちも明るく元気な大野

- ・隣接区も巻き込んで、大野の活性化、コミュニティ増進を図る。
それが、地域の人々のシビックプライドの醸成にもつながっていく。

②企画のタネ（一番大切に考えたいこと）
スポーツを通じて、地域のコミュニティをつくりたい
（みんなで健康に。運動の視点からまちを元気に。）

⑤空間の写真



中央公園を起点に



周辺の道路や商店街なども活動のフィールドに

⑥だれに（ターゲット）

相模大野に関わる全ての人（老若男女問わず）

⑦どんなことをするのか（コンテンツ）

公園は、時間によって行う活動（公園の使い方）を変える
・例えば、朝：ヨガ、昼：エクササイズ、夜：キャンプ等
・インストラクターを呼ぶために何が必要？

公園内に利用者のためのちょっとした施設を整備
・飲食、ランニングステーション等

公園を起点として、周辺（道路、商店街、大学等）にウォーキングやサイクリングのコースなどを設定

商店街などをウォーキングで通るとポイントゲット。ポイントが溜まったら商店の割引を受けられる
・商店街の協力が必要

【Dグループ】

①テーマ
相模大野の食とまち

③いつ（開催時期）

通年
（季節に応じたテーマを設定する）

④どこで（会場）

（まずは）中央公園（セントラルパーク）

- ・中央公園の水辺の近くや多目的広場など
- ・コリドー街、伊勢丹跡地デッキ、ロビーファイブ、相模女子大などにも展開していく

⑧この企画でのゴール（達成したいこと）

回遊が生まれて通年にぎわっているまちになる

- ・みんながまちに誇りをもつ
- ・平日、休日に関わらずにぎわっている

②企画のタネ（一番大切に考えたいこと）
食を通じて人とまちをつなぎたい ・中央公園を憩いの場に ・コリドー街から公園への誘導 ・
うまいものが食える

⑤空間の写真



まずは中央公園で始める



コリドー街などにも広げていく

⑥だれに（ターゲット）

テーマに応じたターゲットを設定
近隣の人、学生、ファミリーが中心
（町田に行かない層）

- ・性別、老若男女問わず楽しめるコンテンツが必要

⑦どんなことをするのか（コンテンツ）

屋台やキッチンカーを並べてマルシェを開催する
テーマを設定する
（カレー、キャンプ飯、地産地消、…）

- ・マルシェ（市場、物販）
- ・キッチンカーの乗り入れを可能にする
- ・飲食店による工夫を凝らしたキャンプ飯の販売
- ・カフェを設置
- ・イベントスペースを整備
- ・多目的広場に屋台を設置して人を呼び込み、公園内へ導く
- ・公園内をゾーニング（キッチンカー、子どもの遊び場、いこい）
- ・南区ブルーを活かしたデザイン
- ・カレー（大野の店、外部からのキッチンカー）
- ・もんじえまつりと並ぶ南区の名物まつりにする（例月のフードイベント）

【Eグループ】

①テーマ
子育て

②企画のタネ（一番大切に考えたいこと）
楽しく安心して子育てできるまちにしたい（働きながら子育てできる／子どもが安全に遊べる／大人も楽しめる）

③いつ（開催時期）

通年

⑤空間の写真



中央公園を活かす

⑥だれに（ターゲット）

子ども + 一緒に過ごす大人も

④どこで（会場）

中央公園

- ・水路、植え込み、斜面、パークハウス（会議室、お店）など
- ・まだまだ使える空間がたくさんある！



いい水辺空間がある

⑦どんなことをするのか（コンテンツ）

- （自然に触れられるようにする）
- ・水辺空間で遊べる
- ・水路を活かして魚が見れる空間にする
- ・鳥が見れるように巣箱を設置
- ・季節が感じられる花を植える（ボランティアが管理）
- （楽しく過ごせるようにする）
- ・バーベキュー空間の確保
- ・キッチンカーの誘致
- ・カフェやテラスの整備

⑧この企画でのゴール（達成したいこと）

保護者だけでなく、地域の高齢者などいろいろな人で子育てができるまちになる
まちなかだけど自然を感じ触れられるまちになる

橋本駅周辺

「産業の活力と賑わいがあふれる交流拠点」の役割を担うため、リニア駅の整備効果や、圏央道相模原インターチェンジの近接による交通利便性を活かしたまちづくりを進めます。

相模原駅周辺

「安心とゆとりある文化・行政が集積する中枢業務拠点」を実現すべく、相模総合補給廠の一部返還地や共同使用区域を生かし、スポーツや文化など市民が憩い賑わう空間の創出や、周辺地区の今後の発展の起爆剤となる新市街地の形成を進めます。

周辺都市の状況

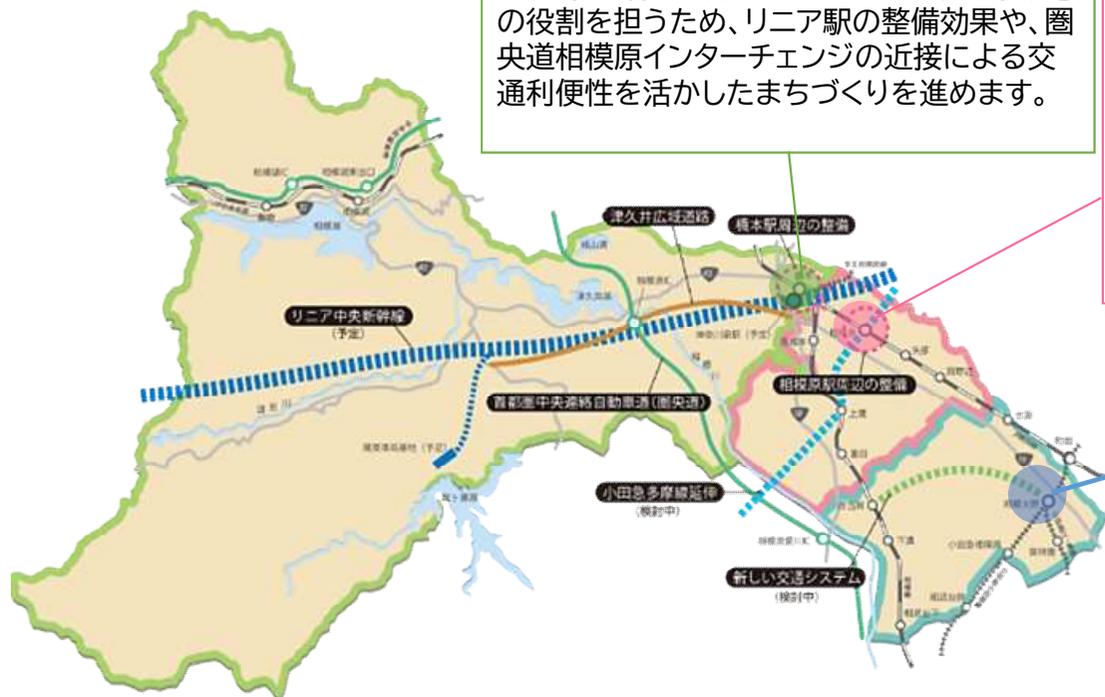
●町田駅周辺

駅周辺の2030年の将来像を「夢かなうまち」と定め、その実現に向けて10のプロジェクトが推進されています。

- ・駅前通り(原町田大通り)の憩いと賑わい空間づくり
- ・南の玄関口のまちづくりプロジェクト 等

●海老名駅周辺

ららぽーと海老名の開業により、駅周辺の拠点性がさらに拡大しており、駅西口では地元地権者などによるエリアマネジメント組織が設立され、産官民協働によるまちづくりが進められています。



相模大野駅周辺

市の南の玄関口として、三核構造のまちづくりにより都市基盤整備は概ね完成して、これからは**既存の公共的空間等を活用しながらソフト施策を中心としたまちづくりを進めます。**

年表

相模大野駅周辺

他地域

ポーノ相模大野が完成して、今の三核構造のまちへ



2013

伊勢丹相模原店閉店

2019

伊勢丹相模原店跡地にマンション建築

相模大野駅周辺ワークショップ開催

2022



2025

橋本駅周辺
リニア中央新幹線駅開業

2027



相模原駅周辺
補給廠全面返還や、小田急多摩線の延伸の可能性を踏まえたまちづくり